



真心の行動  
慈愛の奉仕  
平和に挺身

青い空 緑の山と風  
黄色のうねりは  
人類の理想 文化を表わす。  
それらが混然一体調和して  
ロータリーの理想に向けて  
昂って行く姿を示している。



# Weekly Report



地区の標語 **原点に帰りロータリーの心を学ぼう**  
クラブの標語 **親睦と奉仕でクラブの和を深めよう**

## 第255回例会報告 (1/24) (1995年～1996年度第28回例会)

司会 SAA委員会委員 高村 弘

◎点鐘 会長 萩生田茂夫

◎ロータリーソング 「日も風も星も」

ソングリーダー 菊池 敏

◎お客様紹介 会長 萩生田茂夫

関戸 達哉様 (東京多摩RC)

◎会務報告 会長 萩生田茂夫

- 1月21日、多摩市国際交流センター第3回シンポジウムに行って参りました。
- 第3回地区クラブ会長会が2月15日芝グランドプラザで行われます。
- 多摩そごうより、例年通りの初午祭の実施について案内状が参っております。ご協力をお願いします。

◎幹事報告 幹事 橋口 洋三

1) 先日3月8日、9日の地区大会登録料の振り込みのお願いをFAXでしましたが、未だお振り込み頂いてない方は明日1月25日が締切日ですので、本日事務局の西川さんへ直接お支払い下さいますようお願い致します。

2) 皆様のお手元にピンクの多摩センター共同利用駐車場をご利用のお客様へのチラシが配布されていると思いますがお読み下さい。

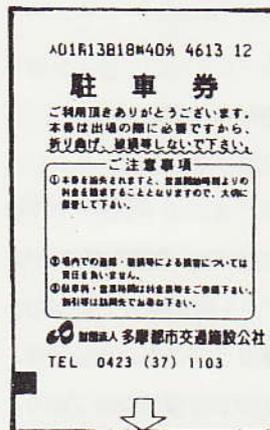
### 〈多摩センター共同利用駐車場をご利用のお客様へ〉

平成8年2月1日(木)から、お客様への駐車場料金の割引について現在の割引券方式から、駐車券に直接割引時間を入力する「認証」方式に変更となります。つきましては現在、多摩そごうで配布している2時間の割引券の使用期限は、平成8年2月末までとさせていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。

認証は機械処理のため、車を駐車場に入れる際に発券される駐車券が必要となります。

ご来店の際は駐車券を必ずお持ち下さい。

(駐車券がないと割引認証はうけられません。)



## 東京多摩グリーンロータリー・クラブ

会長: 萩生田茂夫 副委員長: 古尾警太郎 山崎 光一  
幹事: 橋口 洋三 委員: 平野行廣・飯島裕美・根本泰守  
会報委員長: 小城 章良 関岡俊二・城倉正博・戸田昭寿

事務局: 東京都多摩市落合1-9-1  
多摩センタービル7階  
TEL 0423-72-6463/FAX 0423-72-6491

例会場 多摩そごう7F バンケットルーム

例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30

## 委員会報告

### ◎ニコニコBOX 親睦活動委員会委員 内田 茂男

萩生田茂夫：先回の例会、都合により欠席致しましたので。

橋口 洋三：事務局移転の賃貸借契約書（案）で赤尾、宮本各バスト会長、杉山会員にお世話になったので有難うございました。

赤尾 恭雄：1月27日はポール・ハリスの命日で今日から追悼記念週間です。追悼の心をこめて。

遠藤 二郎：太田屋酒店新築工事の着工を祝して。

伊藤 英也：赤尾先生の卓話、楽しみにしています。

本日合計 金10,000円 本年度累計 金762,278円

### ◎出席報告 出席委員会副委員長 小坂 一郎

会員総数	54名(1名出席免除者)
出席者数	44名
本日出席率	83.02%
1/10出席率	90.57%

#### ■メイクアップ 6名

田中 實(1/16多摩)

萩生田茂夫(1/23多摩)

北村 幸彦(1/23多摩)

奥木 博勝(1/18保谷)

関岡 俊二(1/23多摩)

海野 栄一(1/19新宿)

#### ■欠席届出者 7名

大松 誠二 風間 茂穂 北村 幸彦

小林 和夫 中山順一郎 大熊 将夫

新海源四郎

#### ■欠席者 2名

伊東 巖 森田 舞子

### ◎ゴルフ部 伊神 稔

恒例の「プロアマチャリティーゴルフ」の案内がまいりました。今年で11年目を、迎え、1回の開催で、300万～400万円のお金がホストをするクラブの市の福祉団体、その他に渡されております。協力クラブが11クラブあり、今回は稲城ロータリークラブがホストになります。今年4月22日(月)、府中カントリークラブで行われます。

4月3日(水)恒例の「お花見例会」当日「お花見ゴルフ大会」を東京国際カントリークラブで行います。3月19日(火)、「3クラブ合同例会」当日 府中カントリークラブで、GSEの方を御招待し、親睦を兼ね、3クラブ合同ゴルフコンペを行います。

以上が決定しているコンペです。奮って御参加下さい。尚、当クラブのゴルフ部「スクラッチ会」は決定次第お知らせ致します。

### ◎地区青少年交換 伊神 稔

地区青少年交換委員をお引受けして、約1年半になりました。昨年来日しました学生達も無事にこの1月、オーストラリア、ブラジルと帰国しまして、新たに学生達が参りました。月に1回～2回オリエンテーションを青年館で5～6時間かけて行います。当クラブで引受けましたメッテもすっかり日本の生活に慣れ、2月からは第3のホストファミリーである関岡会員宅に移ります。ぜひ皆様の御協力で残る6ヶ月思い出を皆さんの御好意で応援してあげて下さい。さらに4月末～5月にかけて20名の高校生を世界に向けて選考試験をして送り出す仕事があります。皆様の御家族、お知り合いの方でチャレンジしたいという方がいらっしゃいましたら会長、幹事、又は私の方にお申し出下さい。

#### これからの卓話(予定)と行事

2月7日 (卓話) 戸田 昭寿

2月14日 (卓話) 小坂 一郎

「薬業界の現状」

2月21日 (卓話) 遠藤 立一

「環境と健康II」

2月28日 (卓話) 内田 茂男

「イニシエーションスピーチ」

3月6日 (卓話) 伊藤 英也

3月8日 } 地区大会 東京ベイN.K.ホール  
3月9日 }

### ◎ロータリー豆知識 ロータリー情報委員長 宮本 誠

「クラブ定款」の説明

## 【卓 話】

「ロータリー理解推進月間に因んで」

赤尾不動産鑑定事務所 所長 赤尾 恭雄



今月はロータリー理解推進月間であり、かつ、1月27日はポール・ハリスの命日に当たることから、本日より1週間を追悼週間として位置づけられております。

この特別月間に際してロータリーの一端をお話ししロータリーへの思いを新たにしてみたいと考えます。

ご存じのとおり、ロータリーの歴史の一頁は、1905年2月23日に開かれました。その日のシカゴの夜は凍てつくような寒さであったそうですが、35才の青年弁護士ポール・ハリスは、他の3人の友人・石炭商のシルベスター・シール、洋服商のハイラム・ショーレ、鉱山技師のガスターバス・ローアと共に、ローアの事務所（ディアボーン街ユニティビル）で第1回の会合が開かれました。

原始期におけるロータリーには、現在のように確立された理念もなく、ましてや奉仕の概念は存在せず、単に会員相互間の親睦と相互扶助を目的とする社交クラブ組織でありました。従って、現代流な言い方をすれば、インサイダー取引の円滑な推進を目的としていたとも言え、少数の例外を除いては、これによって会員の企業は経営的に少なからず恩恵を受け成長したと言われており、所期の目的は達成したかに見えました。

しかしながら、このロータリーの在り方は、やがて社会的な批判を浴びることになりました。創立当初からの一業一会員制による同業者の排除に加えて、会員間の相互扶助による恩恵から、何等の社会性をも有しないクラブ運営に対するエゴイズム団体との批判であり、具体的には、入会を勧められた一会員候補者が入会を拒絶する理由として語り、また一方でロータリアンの中からも同様の批判がでるに至りました。

このことから、ポール・ハリスは、ロータリーの在り方、

クラブ運営の考え方に危機感を抱き、ロータリーに社会性の必要なことを主張するキッカケとなりました。

1907年、ポール・ハリスは自ら進んでシカゴクラブの3代目会長に就任し、ロータリーの社会性を真剣に考え、「我等クラブの親睦のエネルギーを、挙げて世のため人のために放流しよう」と提唱いたしました。

しかしながら、これに対して、従来の親睦と相互扶助こそがロータリーの理想であるとする親睦論者のハリー・ラグルス等の反撥を受ける結果となりました。ハリー・ラグルスは、シカゴクラブの2回目の会合から参加したロータリアンであり、沈み勝ちなクラブの雰囲気鼓舞することを目的に、印刷業の彼は自ら歌詞カードをつくり、ロータリーソングのタクトを振った最初の人でした。ポール・ハリスとは対立する意見の持主ではありましたが、性格の明るさと陽気さとはシカゴクラブにとって貴重な存在であったようです。原始ロータリアンの中では、最も長命であったとのことでした。

1908年、ポール・ハリスは続けて2期目の会長に就任しましたが、任期半ばで退任。これと時期を同じくして、シカゴクラブはフレデリック・シェルドンを会員として迎えることになりました。

このシェルドンこそが、ポール・ハリスの社会性志向をバックアップするパートナーであり、ロータリーの奉仕哲学を確立する歴史的功績を残した偉大なロータリアンであります。

フレデリック・シェルドンは、ミシガン大学経済学部の出身で経営理論をマスターし、その理論に基づいて販売学を教える学校を設立しましたが、この学校は英語圏の諸国では大いに注目されたようです。

彼は、ミシガン大学で学んだ基礎理論の実践の場をロータリークラブの親睦に見出し、基礎理論の中心概念である「奉仕」と「ロータリーの親睦」と同一視すべきものと考え、この問題意識をもってシカゴクラブに入会し、ポール・ハリスの片腕の役割を果たすと同時に、ロータリーの「思考」を「哲学」の域まで高めた人物であり、創始者ポール・ハリスとともに、我々ロータリアンにとっては忘れてはならない偉大な先輩ロータリアンであります。

そこで、シェルドンは次のような提言を行いました。

即ち、資本性社会における自由競争において、金銭獲得と金銭管理を中心とした現代職業社会の利潤追求の欲求に何等かの形で文化性の付与を必要とする状況にあり、これ

を怠れば弱肉強食による人間存在の破壊にもつながりかねない。従って、現代職業人は「利己と利他との調和」に努め、その目標に向かって企業の経営を行わなければならない。そして、「利己と利他との調和」の達成を念願して営まれるすべての行為を、その背後に働く心の世界で規律する境地のことを「奉仕」と定義づけたのです。

シェルドンがそこで問題としたのは、どのようにして「利己と利他との調和」を会得するかという点でした。この概念を会得するためにはかなりの自己研鑽を必要とすることは言うまでもありません。彼はこの自己研鑽を極く自然に達成できる社会制度を探していたのですが、これを当時のシカゴクラブにおけるポール・ハリスが提唱していた「我等少数の職業人の親睦のエネルギーを社会改良のために放流しよう」との考え方に結びつけたのです。ロータリーの奉仕概念が親睦の実体概念として把握されたのもこの時でした。

従って、

- (1) ロータリーの親睦は単なる感性的親睦にとどまらず
- (2) 「利己と利他との調和」を祈念する精神的親睦をも意味すると同時に
- (3) ロータリークラブ及びロータリアンの存在故に日常生活における私利私欲の追求が同時に世のため人のためになり得る実例を実証でき、このようにして
- (4) ロータリー運動は、20世紀における商人文化の華として、次の世紀の人達に誇りをもって自らの伝統を受け継ぐことができる

という確信をロータリーは形成できたのです。

今日、多くのロータリアンが認識しているロータリーの奉仕と、ポール・ハリスやフレデリック・シェルドンがロータリー創成期に考えていた奉仕の概念とは、かなり違うと言うことが感じられます。我々があくまでロータリーの本道を歩むことを望むならば、今こそ原点に立ち帰って考えてみる必要があります。と言うよりは、すべてのロータリアンが原点に思いを至すべきが当然と考えます。

以上のことを踏まえて、主なロータリー運動の特質を挙げてみたいと思います。

第一に挙げなければならないのが「個性」です。ロータリー運動は、団体的というよりは、むしろ個人的活動を主体とする運動であるということです。ロータリアンは一業一会員制のもとで選ばれた職業人であり、毎週1回の例会では同業関係では体験できない異業種の優れた発想を交

換し合い、例会を離れた時には心の満足を得るとというのが、ロータリー運動の第一義であります。このことがロータリー運動の第一の目的である以上は、クラブ自体が金を集めて社会のために行動することは第二義的と考えなければなりません。

このことは、ロータリアンは金を使って行動してはならないということではありません。金を使うべき時には応分の金も使わなければなりません。万事を金で解決するという安易な解決方法は、ロータリーになじまないという意味です。

従って、団体性を全く否定することではありませんが、クラブが団体性を行使する活動、即ち団体奉仕は教育的機能の行使であって、これによって地域社会の特定の問題点に会員の理解を植えつけるためであり、クラブ財源の許す範囲で団体奉仕を実施するに過ぎないと理解すべきです。

要は、ロータリーの原則は「心は持ち寄っても、金は持ち寄らない」ことにあります。

第二に「創造性」を挙げることができます。ロータリー運動の初期から、ロータリークラブは職業人のクラブであり、資本性社会の自由競争から生まれる同業者に対する不信任感を排除する目的から一業一会員制をとっておりましたが、この点を「利己と利他との調和」の認識に立って、その適用方法を抜本的に改めたのはシェルドンだったのです。彼は職業分類学の考え方に基づいて職業分類表をつくり、それによって地域社会の職業の横断面を明らかにし、一職種につき最も人間関係を重んじて良質な企業管理を行い、かつ、業界において尊敬と信頼の厚い職業人をロータリー運動の適格者として選ぶという基盤を作り上げたのです。この意味での業界のリーダーがロータリークラブの例会で他の業界の良質な職業人の異質の発想から、刺激を受け、自己の限界を自覚すると同時に、絶えず変化する社会状況とそのニーズを汲み取ることができるようになるのであって、これこそがロータリー運動の最大の効果と言えます。

第三にロータリー思想の「普遍性」を挙げなければなりません。

ロータリー思想の発祥の地はアメリカですが、単にアメリカ国民固有のものではなく、世界中のロータリー思想を自覚したすべての人々の心の支えとなり得るものであり、これによって互いに発想交換を行い、各自が創造的かつ主体的に自己研鑽のエネルギーの生産を行うことができるものなのです。